

カントン・バーゼル・シュタット

Basel-Stadtについて

政治システム

宗教

余暇

文化

Basel-Stadtについて

Basel-Stadt州はスイス連邦にある26州（カントン）の中の一つです。ドイツとフランスとの三国境にあり、強い経済力と多様な文化、高い生活水準を特徴とする地域です。

基本情報

Basel-Stadtは、バーゼル市、そしてリーヘンとベッティンゲンという2つの政治的自治体[Gemeinde]（Gemeinde）の合計3つの自治体から成っています。州の人口はおよそ20万人、住民の国籍は160カ国に上ります。面積がわずか37平方キロメートルというBasel-Stadtは、スイス最小かつ人口密度が最も高い州です。公用語はドイツ語です。

歴史

Basel-Stadt州は1833年に成立しましたが、その長い歴史は刺激にあふれています。ここには約13万年前の中期旧石器時代にすでに集落が形成されていました[Basel]。Baselは戦略的に好都合な場所にあったため、紀元前30年にはローマ人がミュンスターヒューゲルという丘の上に軍を配備しました。ここには現在、バーゼル・ミュンスター（大聖堂）が建っています。このミュンスターは元司教座聖堂で、1019年に聖別されました[Basel]。Baselの州の紋章にBaselの杖が描かれているのはそのためです。これは司教が持つ司教杖を表しています。

1460年にはバーゼル大学が設立されます[Basel]。Baselは活版や人道主義の中心地へと発展し、16世紀半ばにはイタリア北部やフランスから大勢の移民がこの地へ逃れてきました。人々は絹織りや絹染め物をBaselへと持ち込みました。そこから誕生したのが今日の製薬化学企業です。1833年、Basel-StadtとBasel-Landschaftが武力闘争のち分裂することになりました。今日[Basel-Stadt]、Basel-Stadt州はライフサイエンスに重点を置く、文化、商業、経済の中心地となっています。

風習と伝統

Basel-Stadt州には州民にとってとても大切な風習と伝統がたくさんあり、皆さんにもぜひ知っていただきたいものです。一番に紹介したいのはファスナハト[Fasnacht]（Fasnacht）です。毎年2月か3月に3日間開催されるため[«drey scheenschte Dääg»]、「最も素敵な3日間」とも呼ばれています[Basel]。Baselの秋の見本市[Herbstmesse]（Herbstmesse）は500年以上の歴史を持ち、Baselのクリスマスマーケット[Weihnachtsmarkt]（Weihnachtsmarkt）もまた長い伝統に彩られています。クラブや同業者組合、協会などで活動する人が多く、サッカークラブFCバーゼルの試合はいつも人で、夏には大勢の人がライン川で水泳を楽しみます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/canton-basel-stadt/about-basel-stadt

政治システム

スイスの政治体制は、連邦（ブント）、州（カントン）、地方自治体（ゲマインデ）の三層に分かれています。国民は政治に関するテーマについて投票することができます。

スイス連邦

スイス連邦は1848年に建国されました。主都はベルンです。民族、言語、宗教、どれをとっても一様ではありません。さまざまな文化が自由意志で一つになったことから、「自由意志の国」[Willensnation]（Willensnation）と呼ばれています。

連邦制

スイスを作る26の州と2000以上の地方自治体は、政治的な独立性が非常に高く、これを「連邦主義」と言います。各州や各自治体はそれぞれ独自の政治構造を有しています[Basel-Stadt. Basel-Stadt州には独自の憲法、政府、議会、裁判所があります。公立機関が負う任務の多くは自治体と州が管轄しているため、学校制度などは州ごとに異なります。連邦法はスイス全国に適用されますが、各州にはその州でのみ適用される独自の法律もあります。地方自治体も独自の規則を定めることができます。それぞれの任務を遂行するために、連邦、州、地方自治体は税金を徴収しています。

権力分立

少数の人や組織に政治権力が集中してはならないため、スイスの国および州では、これが立法（法を定める権限）、行政（法を実行する権限）、司法（裁判の権限）という、3つの独立した権力に分けられています[Basel-Stadt. Basel-Stadt州では以下の機関がこれらの役割を果たしています。

- 立法：議会[Grosser Rat]（Grosser Rat）（100議席、4年に一度投票で選出）
- 行政：州政府[Regierungsrat]（Regierungsrat）（7議席、4年に一度投票で選出）
- 司法：州レベルの各種裁判所[Gerichte]（Gerichte）

Basel-Stadtには1つの特色があります[Basel-Stadt. Basel-Stadt州の議会、政府、裁判所は、同時にバーゼル市も管轄しているのです。また、リーヘンとベッティンゲンの両自治体にも立法（住民議会[Einwohnerrat]=Einwohnerrat）と行政（自治体集会[Gemeinderat]=Gemeinderat）があります。

連邦の立法議会は国民議会（下院）と全州議会（上院）の二院制[National- und Ständerat]（National- und Ständerat）です。連邦内閣（7議席）はブンデスラート[Bundesrat]（Bundesrat）と呼ばれています。連邦レベルにも種々の裁判所があり、例えば州の裁判所

が下した判決は、最高裁判機関である連邦裁判所に上訴できます。

国民の権利

スイス国民は投票や選挙に参加でき、連邦、地方自治体、州の政治組織を選出します。また、自ら立候補することもできます。そのほか、政治案件を扱う国民投票も行われます。ここでは、地方自治体、州、連邦の各レベルの決定を住民が下すことができます（直接民主制）。また、自分で提案をし、それについて投票してもらうこともできます。それにはまずイニシアチブをスタートさせなければなりません。Basel-Stadt。Basel-Stadt州に住む外国人には投票の権利も選挙の権利もありますが、政治に関する要望があれば、請願書を当局に提出することができます。また、各種委員会や利益団体、クラブなどに参加する機会も多々設けられています。

基本的な権利

連邦憲法[Bundesverfassung]（Bundesverfassung）にはスイス最上の法的原理が謳われています。連邦憲法の中で最も重要な項目の一つとして、欧州人権条約[EMRK]（EMRK）に基づいた基本的人権が挙げられます。これにより、生きる権利や緊急時に援助を受ける権利などの人間的な生活が保障され、また個人が国家的暴力に脅かされたり、少数派グループが多数派に抑圧されたりしないように守ります。そして、何人も出自、人種、宗教、性、性的指向によって他者を差別しないように保障されています。Basel-Stadt。Basel-Stadt州では、人種差別の被害者は無料で支援や相談を受けることができます。スイスでは宗教、表現、報道の自由が浸透しています。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/canton-basel-stadt/political-system

宗教

スイスはキリスト教を伝統とする国です。しかし、今日では他の宗教を信仰する人々も大勢住んでいます。スイスでは宗教の自由が浸透しており、公立の学校は宗教に関して中立な立場をとっています。

宗教と国家

スイスは伝統的にキリスト教が強く影響している国です。政治と宗教の関係を決定するのは州です。Basel-Stadt。Basel-Stadt州を含め、ほとんどのドイツ語圏州では、複数の宗教共同体を公法上の機関として承認しています。つまり、会員から税を徴収するなど、特定の権利を委ねているのです。Basel-Stadt。Basel-Stadt州では、改革派教会、ローマ＝カトリック教会、古カトリック教会、ユダヤコミュニティが公法的であると認められています。そのほかにも州レベルで認められているコミュニティがありますが、これらの組織は私法にのっっています。

Basel-Stadt州の宗教コミュニティ

バーゼル住民の約3分の1は、公法的であると認められている4つのコミュニティの1つに属しています。そのほかにも、イスラム教やヒンズー教、仏教、あるいは新しいムーブメントなど、多くの宗教コミュニティがあります。どこにも属していない住民は全体のほぼ半数に上ります。

宗教の自由

スイスの憲法は宗教の自由を保障しています。つまり、誰もが自分の宗教的信条を自分で決めることができます。誰もがその信条を表明し、それを広めることができます。一方で、誰も宗教コミュニティへの加入や宗教的な行動への参加を強制されてはなりません。宗教的な儀式や祭事を行う集会は自由です。宗教や信仰のために差別されてはなりません。

宗教と学校

義務教育学校は宗教的に中立ですが、授業では宗教に関するテーマも扱われます。小学校の授業には「自然・人・社会」科目があり、さまざまな生活様式や文化について学びます。そのほかにも任意で受ける特定宗派の宗教授業があります。中学校では必修科目の「倫理・宗教・共同体」で、さまざまな文化や宗教、世界観、価値観が入り交ざる暮らしに欠かせない重要なスキルを学び取ります。他の宗教を信仰する子ども向けに、校外授業を行っている宗教コミュニティもあります。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/canton-basel-stadt/religion

余暇

Basel-Stadt州には余暇を楽しく過ごせる場所がたくさんあります。特にクラブは重要な存在で、いろいろな人と知り合ったり、一緒に何かをすることができます。

クラブ活動

多くの住民が何かのクラブ[Verein] (Verein) に属しています。スポーツや文化関連など、さまざまなクラブがあります。クラブに入会すれば、他の人と知り合うことができます。ほとんどのクラブは誰でも入会できます。

青少年向けの企画

青少年は、同年代と知り合える多くの施設や催しを余暇に利用できます。そこではプロジェクトに参加したり、自分のアイデアを持ち込むこともできます。青少年は指導員が世話をし、付き添います[Jugendarbeit] (Jugendarbeit)。これらは通常無料です。

観光と文化

Basel-Stadt州には数多くの行楽地や文化的な催しがあります。夏には大勢の人々がライン川を遊泳し、公園でピクニックを楽しみます。家族連れにはバーゼル動物園も人気です。近場には美しいハイキング道やサイクリング道もあります。ブライスガウ地方のフライブルク(独)やシュトラスブルク(仏)などの町も電車ですぐです。行楽や催し物に関する情報はBasel Tourismusで得られます。

通いの場

通いの場(Quartiertreffpunkte)には誰でも自由に出入りできます。家族や高齢者、まだあまりドイツ語が話せない人にさまざまなサービスを提供しており、家族センターになっている出会いの場もあります。ここでは母親や父親が子どもと一緒に自由な時間を過ごせます。通いの場では日常的な相談やサポートを行っているほか、家族でのお祝いなどの催しに部屋を借りることもできます。

ボランティア活動

ボランティア[Freiwilligenarbeit] (Freiwilligenarbeit) は人々や環境を助ける無償の活動を意味します。スイスでは特にクラブに参加する人々が多くの任務を引き受けています。ボランティアに関心がありますか？クラブ活動の中で、文化、スポーツ、社会福祉、教育、動物・環境保護、健康など、さまざまな分野に貢献できます。

ボランティアや参加に関する情報は下記にお問い合わせください。

- ボランティア活動専用窓口GGG Benevol
- スイス赤十字Basel-Stadt支部[SRK] (SRK)
- Caritas両バーゼル準州支部

難民関連や難民のためのボランティア活動に関する情報:

- 難民関連のボランティア調整窓口[KOFF] (KOFF)
- スイス難民援助機関

スポーツ、文化、教育関連の催し物の割引

[Kulturlegi]「Kulturlegi」証は金銭的にあまり余裕がない人向けのサービスです[KulturLegi]。KulturLegiを見せれば、スポーツ、文化、教育に関するイベントの入場料が安くなります。申請はCaritasに行います。その後、CaritasがKulturlegiについての説明や発行のための審査を行います。そのほかにも、北西スイスに住む家族を対象としたファミリーパス[Familienpass] (Familienpass) やファミリーパス・プラス[FamilienpassPlus] (FamilienpassPlus) があります。また、児童や青少年はcolourkeyや休暇パス[Ferienpass] (Ferienpass) などの割引や無料サービスも数多く利用できます[KulturLegi]。KulturLegi、ファミリーパス[coloukey、coloukeyで割引になるものはたくさんあります。詳細はウェブサイトをご覧ください。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/canton-basel-stadt/leisure

文化

バーゼル・シュタットでは文化的催し物がたくさん開催されます。お金に余裕がない人は、無料あるいは割引価格で入場できるさまざまな方法を利用できます。

美術館 / 展覧会

40近くある美術館で展覧会や催し物が行われているほか、小さな画廊や魅力あふれるアートスペースも数多くあります。公共の場所でも芸術作品をたくさん発見できます。

音楽 / 舞踊 / 演劇 / 文学

Basel-Stadt州では文化的な催しがたくさん開催されます□Theater Basel。Theater Baselではオペラや演劇、バレエを、Kaseneでは現代的な音楽や舞踊、演劇を鑑賞できます□Vorstadttheater。VorstadttheaterやSommercasinioといった、こじんまりとした会場もあります。夏には野外で上演される公演やフェスティバルも数多く楽しめ、無料イベントも開催されます。

建築

Baselの中とその周辺では数多くの現代建築を発見できます。例えばリーヘンには建築家レンゾ・ピアノが手がけたFondation Beyelerが、またBasel旧市街にはクリスト&ガンテンバイン作のKunstmuseum Baselの新館があります□Stadtcasino Basel。Stadtcasino Baselの拡張にはヘアツォーク&ド・ムーロンが携わりました。

文化の促進

職業芸術家は自分のプロジェクトに必要な費用を申請することができます。文化課のウェブサイトには、助成金の申請の仕方などの情報が掲載されています。

無料および割引価格の催し

多くの美術館やイベント場では特別な料金枠を設けています。例えば特定の時間に入場すれば入場料が安くなったり無料になったりします。特定の人が割引料金や無料で入場できる場所も少なくありません。また、公共の場では無料の展覧会やフェスティバルも開催されます。多くの移民関連のクラブ□Verein□（Verein□）や組織も文化的な催しを行っています。KulturLegi、ファミリーパス□Familienpass□□colorkey

（Familienpass□□colorkey）、colorkeyで割引になる催しもたくさんあります。1人では美術館や催しに行きづらいですか？グループやタンデムで行けるものもいろいろあります。「タンデム」とは、別の人と2人で催しに行くことをいいます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/canton-basel-stadt/culture